



令和3年度

神谷だより

< 10月号 >

令和3年10月4日
北区立神谷小学校
校長 星野 典子

教育目標：すこやか・まなび・おもいやり

ノーチャイム

副校長 岡庭 智憲

日に日に涼しくなってきました、日中も過ごしやすくなりました。

10月8日の終業式に向けて、学校ではどの学年も学習や生活のまとめと振り返りをしています。また、今月23日に行われる運動会に向けて、今日から練習が始まり校内は大変活気にあふれています。

さて、私が本校に着任して2年目になりますが、昨年度、神谷小学校の子供たちの様子を見て、驚いたことを一つ紹介します。

子供たちの自主性を育てるため、本校ではノーチャイムを実施しています。私も前職の仕事柄、これまでノーチャイムの学校を何校も見てきましたが、休み時間の終わりに先生方が時間を知らせたり、声をかけたりしている学校が多く、あまりノーチャイムであるよさを感じることはありませんでした。

長い休校が明けた昨年6月、神谷小学校ではどうかと思ひ、中休みの様子を見ていました。中休み終了の5分前、10時35分になると子供たちは自然と昇降口に入っていく、あっという間に校庭から子供たちの姿が見えなくなりました。急いで教室の様子を見に行くと、手洗い・うがいを済ませた多くの子供たちが授業の用意をして座っていました。自分で時間を気にして行動し、次にすることの準備をして待つ姿に大変感心させられたことは、今でも鮮明に覚えています。

本校の生活指導重点の一つは「あつまり」です。これは集団生活を送る上で、時間を守って行動(集合)することや、災害時の避難等において素早く集合することの大切さを意味しています。時間を守って行動することは、人からの信頼を得ることに繋がります。災害時に素早く行動することは言うまでもなく、自分の命を守るために重要なことです。先生方が時には口を酸っぱくして指導し、時には温かく見守ってきた成果が、子供たちの姿に現れています。この力は、将来、子供たちが大人になったときにも役立つと考えています。ご家庭におかれましても、お子さんが自分で時間を守って行動できるよう、声をかけ、目をかけていただけると幸いです。

今月10月23日(土)に春から延期となっていた運動会を実施します。先月末をもって緊急事態宣言は解除されましたが、コロナ禍のためまだまだ制約が多い中での実施となります。詳細につきましては、今後配布されるお知らせにてご確認ください。子供たちの精一杯の演技や競技にご声援をよろしくお願い致します。

また、コロナ禍の状況を鑑み、地域の皆様、来賓の皆様には、ご案内を控えさせていただきます。大変申し訳ありません。今後とも本校の教育活動にご支援賜りますようお願い致します。

3つの **あ**

あいさつ・あつまり・あとしまつ

5年岩井自然体験教室代替活動

9月30日（木）、岩井自然体験教室代替活動で、岩井の大房岬に行ってきました。本来は3泊4日で、南房総市の自然や、集団で宿泊することなどについてたくさん学習する自然体験教室ですが、新型コロナウイルス感染予防のため、日帰りの代替活動になりました。

少しでも子供たちに自然を感じてもらえるように、大房岬で指導員さんの説明を聞きながら地層や要塞跡地を見たり、海岸で貝殻拾いをしたりしました。その後、みんなで宿泊するはずだった岩井学園の食堂でお弁当を食べました。

最後には、指導員さんに「貝殻で作るフォトフレーム」の作り方を教えていただき、お土産に材料のフレーム用板や貝殻をたくさんいただきました。

公園を歩きながら、カニや要塞跡地を見て、展望台からは広い海や向かいに見える神奈川県や静岡県を見てきました。

短い時間ではありましたが、子供たちにとって、5年生の思い出としての記憶に少しでも残ってくれたら嬉しいです。また、現地の指導員さんが、子供たち一人一人のためにたくさんの貝殻を準備してくださったことをよく理解し、感謝する心も更になってくれたら嬉しいです。

5年担任 石井 百合子

